

児童発達支援事業所 ぽるく中原

児童発達支援事業 支援プログラム

法人理念	①ソーシャルインクルージョン（共生社会）を目指します ②先駆的で開拓的な事業を展開します		
支援方針	1）集団活動の中で個々の年齢と発達に応じた関わりを行い、発達の促しをサポートしていきます。 2）「できた」の笑顔を増やし、コミュニケーションの力や興味を育みます。 3）保護者とのコミュニケーションを大切にいたします。		
提供時間	10：00～13：00	送迎実施の有無	有り
支援内容			
本人支援	健康・生活	・登園時の健康観察　・食事支援　・排泄支援　・着脱支援 ・運動（外遊び・室内遊び）　・水遊び（夏季）	
	運動・感覚	・粗大運動（個別の運動課題、からだ遊び、サーキット、ボール） ・微細運動（シール貼り、サインペン、絵の具、制作、はさみなど） ・感触遊び（粘土、スライム、花紙、新聞紙、しらたき、泡など）	
	認知・行動	・個別課題（物の名前、マッチング、数の理解、色の理解、大小比較など） ・集まりへの参加（注目、呼名への応答、絵本、ペープサート、手遊び） ・着席活動　・場面や活動の切り替え　・遊び（興味関心を広げる）	
	言語 コミュニケーション	・職員、友だちとのやり取り ・集まりへの参加（注目、呼名への応答） ・遊びや活動の中での要求表現、援助要請	療育時間10：00～13：00 10：00　登園、支度 自由遊び 10：40　片付け、朝の会 10：50　療育活動 11：50　給食 12：30　自由遊び 12：45　トイレ、支度 13：00　降園
	人間関係 社会性	・遊び（物の貸し借り、場の共有） ・ごっこ遊び、ゲーム遊び（役割、ルール、順番）	
地域支援 地域連携	・地域の公園での活動 ・支援者の会議等		
移行支援	必要に応じて ・就学の際の小学校との引継ぎ ・幼稚園、保育園等への移行の際の引継ぎ ・転居に伴う引継ぎ		
家族支援	・定期面談および必要に応じた面談 ・保護者会 ・各種情報提供		
主な行事	・遠足、 ・母の日・父の日制作、プール遊び、クリスマス制作、節分、ひな祭り制作		
職員の質の向上	・支援スキル研修（ケース検討、外部研修など） ・事業所内研修（虐待防止研修、感染症防止研修、ヒヤリ・ハット要因分析など）		